

(敬称略)

2016年度、時事問題市民学習会報告書

1. 実施事業と参加者数

1. 04月20日、テーマ：「安倍政権と新たな戦前」、講師：高田 健（「許すな！憲法改悪・市民連絡会事務局」）
参加者数：19名
2. 05月09日、テーマ：「立憲主義と国家神道」、講師：島薦 進（（上智大学神学部特任教授・グリーフケア研究所所長）
参加者数：21名
3. 06月13日、テーマ：「公共領域と宗教」、講師：島薦 進（上智大学神学部特任教授・グリーフケア研究所所長）
参加者数：17名
4. 08月03日、テーマ：沖縄が問う「日本の現状と課題」～憲法、安保、民主主義～、
講師：前泊 博盛、（沖縄国際大学・大学院教授）
参加者数：22名
5. 11月11日、テーマ：「沖縄・辺野古高裁判決と高江の現状 本土（東京）に何を問うているのか？」、講師：金井創（かない・はじめ）（日本基督教団 佐敷教会牧師・沖縄キリスト教学院大学平和研究所コーディネーター）
参加者数：23名
6. 01月13日、テーマ：「COP21と日本―日本に期待されるもの」、講師：桃井貴子（認定NPO法人気候ネットワーク 東京事務所長）
参加者数：16名
7. 02月17日、テーマ：「いのちの意味が問われる時代に一生産性とは何か」、講師：奥田知志（日本バプティスト連盟東八幡教会牧師、認定NPO法人抱樸理事長、公益財団法人共生地域創造財団代表理事）
参加者数：22名

参加者合計：140名（各回参加者平均20名）

2. 収支報告（円）

a.	収入	－ 助成金（庭野平和財団より）	510,000		
		会費（参加者より500円／人）	70,000		（小計） 580,000
b.	支出	－講師謝礼（7名）	245,000		
		交通費（沖縄―羽田・ホテル、都内）	35,700		
		会場費（7回）	182,000		
		次年度テーマ策定（専門家2名）	60,000		
		資料作成費	8,082		
		茶代（7回）	22,214		
		ボランティア夕食（1回）	25,404		
		その他（ゴム印）	1,600	（小計）	580,000
c.	差額				0

3. 感 想

- a. テーマについて：今回のテーマ選定については、専門家に頼らず協力者と協議しながらテーマの策定を行った。しかし、一昨年から昨年までの状況は、今までと違い明確なテーマが見えにくかったような印象があり、その都度テーマを選ばねばならなかつた。ある意味、テーマの選択幅が広く、決めるのに時間がかかつた。
- b. 講師について：講師の選任については、問題がなかつたように思う。それぞれの講師が、わかり易い論理でテーマについて、話されたように思う。一パワーポイントを使用される方が多かつたが、講演の時間より長めの資料が多く、ある意味駆け足でテーマについて概観するような感じもした。これはパワーポイント利用の公財かと思う。
- c. 参加者に変化がみられるようになり、若年、中年の継続参加者が少数ではあるが、現れるようになった。これはホームページや教団内のお知らせ機能などを活用させていただいた成果かと思う。
- d. 参加者の値上げについては、来年度中に主だった協力者、参加者と協議したいと思う。また、本プログラムの継続については、学習会の方式、内容を再考する必要が委員会よりなされたが、来年度中に明確したいと思う。
- e. 主たる参加者は、立正佼成会、新宗連、WCRP関係者、NCC関係者がほぼ90%を占めた。

世話人代表 畠山 友利
c/o ACRP 事務所
東京都杉並区和田2-6-1 普門館内